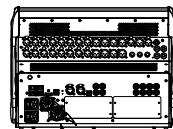
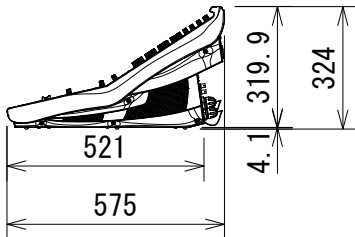
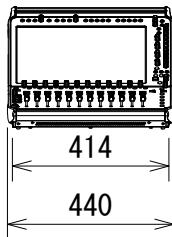
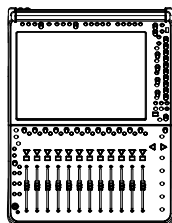
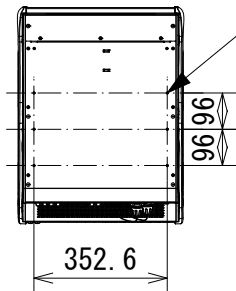


一般仕様（外觀図）

形式	デジタルミキシングコンソール（デジタル音響調整卓）
寸法 (W×H×D)	440×324×575mm
質量	約14.7kg



光学インターフェイスオプション  
※図はHMAコネクタの仕様



底面ネジポイント 6箇所  
M4（並目0.7）ネジ用  
※Q112底面側のネジの深さは、最長で約12mm。  
底面から5mm以上、11mm以内の深さ（長さ）のネジをお薦めします。

（単位：mm）

仕様および外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

NOTE				TITLE			
				DiGiCo Quantum 112 外觀図			
				※Quantum112-WS-××はサーフェイス単品の型名、××は光学オプションの種類HMA, NC, ST			
PAPER SIZE	SCALE	DATE	DESIGN	DRAWN	CHECK	DRAWING NO.	
A4	1/20	2026. 1		Kojima Shohei			

## 仕様

操作盤面、及び 入出力性能	フェーダー数	12 (100mmフェーダー)
	入力チャンネル (処理能力)	80ch (モノ/ステレオ/マルチ入力含む合計)
	バス (処理能力)	24 AUX/GROUP+マスター (LR, LCRの何れか)
	ソロバス	1/2/1+2の2系統、及びTrue Solo機能 (任意のポイントによる検聴機能)
	マトリックス (処理能力)	最大 12×8
	コントロールグループ	12 選択式 (VCAスタイル、ムービングフェーダー、ミュートグループ)
	グラフィックイコライザー	12 (32バンド, ±12dB)
	内蔵エフェクター	ステレオエフェクター×8 + SpiceRack×6スロット
	ノーダルプロセッシング	24 (入力ch側の各AUXポイントのEQ, ダイナミクスの処理機能)
	ローカルI/O (背面コネクタ数)	マイク/ライン入力: XLR3Fタイプ×16 (32bit ADコンバーター搭載) ライン出力: XLR3Mタイプ×8 (32bit DAコンバーター搭載) AES/EBU入出力: 入力XLR3Fタイプ×1 (2ch)、出力XLR3Mタイプ×1 (2ch)
	MADIインターフェース	75ΩBNCコネクタ×8 (48kHz時 4 I/O, 96kHz時 2 I/O)
	DANTEポート	RJ45×2 (Primary, Secondary)、64入出力/96kHzに対応。
	オプティカルインターフェイス (オプション)	コネクタ×2 (1ループ)、コネクタはHMA, OpticalCon, STから選択、 シングルモード仕様は受発注時のみ対応可。
	外部入出力ラック接続数	対応機種のみ接続可、数量は仕様により異なる。参考:オプティカルインターフェイ ス装着時SD-Rack×14台、未装着時SD-Rack×4台 (48kHz) / ×2台 (96kHz)
	拡張カードスロット (DMI)	DMIスロット×2
	USBオーディオ (UB-MADI)	USB TypeB×1、入出力32ch/48kHz動作 (本体のレートに関わらず)
	USBポート	背面×2 (USB3.0)、前面×1 (USB2.0)
	MIDI1.0インターフェース	In/Out/Thru (5ピンDINコネクタ)
	GPI/GPO	GPI、GPO各2系統 (標準STフォーンジャック: チップ、スリーブのみ結線、 モノラルプラグも対応可能)
	外部ディスプレイポート	DisplayPort ※規格名称 ×1
	外部同期	ワードクロック、AES3、MADI、OPTOCORE (オプティカルオプション搭載時) DANTE (LOCAL DANTE)、DMI (カードの構成による)
	タイムコード	MIDIタイムコード、SMPTE
	ヘッドホン出力	操作面及び背面の各面に1組づつ: 標準STフォーンジャック、及びSTミニ フォーンジャックの並列組み合わせ出力 (非独立)
入力チャンネル/ AUX/グループ/ マトリックス の各性能と機能	アナログゲイン (入力chのみ)	-20dB~+60dB
	デジタルトリム	-20dB~+60dB (アナログ入力アサイン時: -40dB~+40dB)
	チャンネルディレイ	最大1.3秒
	仮想真空管回路	DiGiTube: 全ての入力及びバスで使用可能。 Tube: Musterd Processingに搭載。
	ローパス/ハイパスフィルター	20Hz~20kHz、24dB/oct
	イコライザー (各系統共通、SDとMusterd のタイプ切替)	SD: 4バンドパラメトリックEQ/ダイナミックEQ (バンド別切替) ハイ/ローバンドシェルビング/レベル切替え可能。 AUX、Groupバス: 上記4バンドと別ポイントに同性能の4バンドあり、 4バンド×2 (計8バンド) の使用が可能。 Musterd Processing: 最大20ch 4バンドパラメトリックEQ (2バンドはAll Passフィルタ に切替可)
	ダイナミクス (各系統共通、SDとMusterd のタイプ切替)	SD: 上段 コンプレッサー、マルチバンドコンプレッサー、ディエッサ 下段 ゲート、ダッカー、コンプレッサー (*格段に何れか1種類) Musterd Processing: 最大20ch使用可能 上段 コンプレッサー3種、リミッター1種 下段 ゲート、ダッカー、エキスパンダー (*格段に何れか1種類)
	インサートポイント	2: A, Bの各ポイントでプリ/ポスト5パターンからポジション選択) ※Musterd選択 時はInsertAがTube、BがMusterdのインサートポイントの選択表示に切替。
音響特性	サンプリングレート	96kHzまたは、48kHz
	レイテンシー	0.5ms (サンプリングレート96kHz時の代表値、背面の入/出力による値。)
	内部プロセッシング	最大40bitフローティングポイント演算
	周波数特性	20Hz~20kHz (±0.2dB)
	THD+N (22Hz~20kHz)	<0.002% (背面アナログ, 0dB入力@1kHz → AES, -10dBFS出力) <0.002% (背面AES入力、-6dBFS, @1kHz入力→背面アナログ, +16dBu出力)
	クロストーク	>100dB@10kHz (背面の入/出力による値。)
	残留ノイズ	<-93dBu (20Hz~20kHz) 代表値
	マイク等価入力ノイズ	<-127.5dBu (A-weighted, 22Hz~20kHz)
	最大出力レベル	+22dBu
	最大入力レベル	+22dBu
電源	電源 (PSU)	内部電源×2 (AC100V、50/60Hz) 1台は冗長用電源。
	消費電力 (2電源の合計値)	ピーク時140W/アイドル時120W ※冗長構成のため各電源に同容量を要供給。
寸法 (W×H×D)	440×324×575mm	
質量	約14.7kg	

仕様および外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

NOTE			TITLE				仕様
			DiGiCo Quantum 112				
			※Quantum112-WS-××はサーフェイス単品の 型名、××は光学オプションの種類HMA, NC, ST				
PAPER SIZE	SCALE	DATE	DESIGN	DRAWN	CHECK	DRAWING NO.	
A4		2026. 1		Kojima Shohei			

Hibino-Intersound Corporation

ヒビノインターサウンド株式会社